

次世代がん医療を担う多職種人材養成プラン

国際医療福祉大学大学院

2024年度開講

大学院
履修生
募集

【教育プログラム・コースの概要】

①「がん医療の現場で顕在化している課題に 多職種連携で挑む人材育成コース」 (正規課程・インテンシブコース)

＜養成すべき人材像＞多職種連携チームを形成し、がん医療現場で顕在化している課題ー痛みの治療やケア、がん関連学際領域への対応、遠隔病理診断や地域での放射線治療などに関する対応など、広範囲に対応できる医療専門職人材を養成する。

＜対象職種・分野＞医師、看護師、保健師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、診療情報管理士、理学・作業・言語聴覚療法士、生殖補助医療胚培養師、社会福祉士、介護福祉士、公認心理師(臨床心理士)、大学院生など

②「がん個別化医療・創薬の推進を目指した ゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う人材 養成コース」(正規課程・インテンシブコース)

＜養成すべき人材像＞特にがんゲノム解析技術やがん免疫療法を大きな柱として、最新の個別化医療・創薬開発の推進に関する知識と意欲を持ち、がんの個別化診療とくにゲノム医療やがん免疫療法の開発を担う実力を有した医療専門職人材を養成する。

＜対象職種・分野＞医師(腫瘍内科・血液内科、遺伝医学、病理医、免疫学、外科、放射線科など)、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、大学院生など

③「がんのデータサイエンスに基づく予防医療やがんサバイバーケアを推進する人材育成コース」(正規課程・インテンシブコース)

＜養成すべき人材像＞ がんの予防医学・検診医療を大きな柱として、ビッグデータを集積してがんの予防医療の開発に意欲を持つ者が機能的なチームを形成し、EBMに基づく将来への提言をでき、がんの新しい予防施策を提言できるような医療専門職を養成する。さらに本コースでは、がんサバイバーに対する再発予防の観点から身体的・精神的なケア（生活支援や治療支援）に携わる人材の養成を行う。

＜対象職種・分野＞ 医師（検診医療、腫瘍内科、緩和医療、遺伝医学、公衆衛生学、外科、放射線科、病理診断科など）、看護師・保健師、薬剤師、歯科医、診療放射線技師、臨床検査技師、遺伝カウンセラー、生殖補助医療胚培養師、理学・作業・言語聴覚療法士、診療情報管理士（診療情報アナリスト、データサイエンティスト）、社会福祉士、介護福祉士、公認心理師（臨床心理士）、がん検診事業管理者、大学院生など

④「がん看護CNSコース」(正規課程)

＜養成すべき人材像＞ がん看護専門看護師として、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族、医療従事者等に対して質の高い看護を提供する為に必要な専門的知識、技術、態度を修得することが出来る人材を養成する。

＜対象職種・分野＞ 看護師・がん看護CNSコースに在籍している大学院生

※上記のがんプロコースは、
大学院入学後、選択制によりコースを履修いただきます

【お問い合わせ先】

国際医療福祉大学大学院 がん専門医療人材
(がんプロフェッショナル) 養成プラン 事務局

Tel: 03-5574-3900

Email: ganpro-jimukyoku@iuhw.ac.jp